株式会社日本色材工業研究所

証券コード 4920

化学 | スタンダード（内国株式） | 決算期 2月末日 | 連…

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

美しさと健康とを創りだすことで生活・文化の向上に貢献

ROE	ROE目指す
8%以上	10%以上

2 中長期の経営戦略

1. 強み製品の強化と拡大

口紅・リップクリーム等の強み分野への経営資源重点投下。海外大手化粧品メーカー等との取引拡大、フランス子会社との連携強化を推進。

2. クリーン・ビューティー対応

ブラックリスト/グレーリスト対応で高機能処方を提案。取締役会の諮問機関としてサステナビリティ委員会を組成し、SDGs関連の取組みを推進。

3. 高収益体質への転換

座間・つくば２工場の稼働向上。つくば工場第３期の生産能力を活用し、投資時の収益性確保に注力。請負業者活用で採用難に対応。

4. 適正価格転嫁

原材料費・人件費・光熱費の上昇に対応。新規受注時に物価上昇を反映した見積り提示、リピート受注時も人件費・諸物価上昇を反映。

3 対処すべき課題

① 地政学的リスク対応

- ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢緊張の長期化
- 米国を始とする各国の政策リスク継続
- 資源・エネルギー価格、諸物価上昇への対応

② 収益性と財務安定性の回復

- 売上高営業利益率を重点指標として向上
- 自己資本比率を重点指標として改善
- つくば工場第３期の生産能力活用を加速化

③ 成長市場への対応

- 化粧品需要の緩やかな回復・改善に対応した新処方提供
- 新たな高付加価値処方の開発推進
- 海外消費者・化粧品メーカーのニーズ対応を徹底

面接で使えるポイント

- OEM/ODMメーカーとして「強み」製品の強化拡大と、フランス子会社との国際連携を推進中
- クリーン・ビューティー対応でサステナビリティ委員会を組成し、4分科会でSDGs推進
- つくば工場第３期の生産能力活用で高収益体質への転換を目指す成長企業

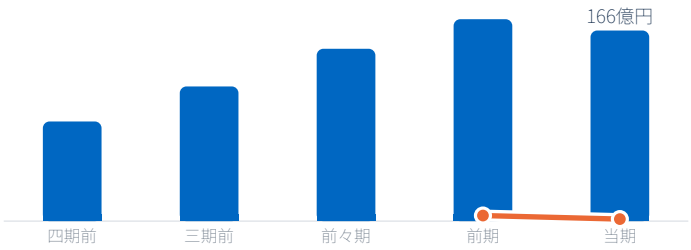
出典: 金融庁EDINET 有価証券報告書「経営方針、経営環境及び対処すべき課題等」（書類ID S100VURP）
原文を生成AI（claude-haiku-4-5-20251001）が要約・再構成したものです。正確な内容は原文をご確認ください。

株式会社日本色材工業研究所

化学 | スタンダード（内国株式） | 決算期 2月末日 | 連…

証券コード 4920

業績の推移（売上＝棒 ／ 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高	営業利益率	財務健康度
166億円	1.1%	18点 ／100点

将来性 曇り ／ 就活偏差値 38.3（当サイト算出の参考指標）

要するに

化粧品の製造受託及び研究開発受託を主要業務とする化学企業

主力事業・セグメント

- 日本　69.8%
- France　30.2%

強み・特徴（公開データから）

- –（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収	平均年齢	平均勤続	女性管理職	男性育休
540万円	39.9歳	9.9年	24.5%	80.0%
化学内 187位/204社	化学内 173位/204社	化学内 180位/204社	化学内 14位/173社	化学内 87位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

参考: 日本色材工業研究所[4920]：「第69回定時株主総会招集ご